

## Heavy Reading 社によるネットワーク事業者を対象とした調査の結果 既存のネットワークング ベンダーに十分満足しているのはわずか 7%

サービス プロバイダーが求めるネットワーク ディスアグリゲーションとクラウド ネイティブ  
アーキテクチャ

現在採用している IP ネットワーク プロバイダーへのロイヤリティよりも 3 倍高い

ラーナナ (イスラエル)、2021 年 9 月 9 日 -クラウド ネイティブ ネットワーキング ソフトウェアと  
ディスアグリゲーション型ネットワークソリューションのリーディング企業である [DriveNets](#) は、本日、  
**Heavy Reading** 社が実施したグローバル IP ネットワーク 調査の結果を発表しました。この調査では、既  
存のネットワーク プロバイダーに完全に満足しているネットワーク事業者はわずか 7%であることが明  
らかになりました。現在のベンダーに対する不満の主な原因としては、高いコスト、オープン性とイノ  
ベーションの欠如が挙げられています。

**DriveNets** 社が主催した調査「[A Radical Network Change to Cloud](#) (クラウドへのネットワークの急激な  
変化)」では、ネットワーク ディスアグリゲーション (分離・分散型ネットワーク) の導入がますます  
高くなっていることがわかりました。今回の調査対象となったサービス プロバイダーのうち、平均 35%  
がすでに最新のクラウド ネイティブ ネットワークまたはアクセスからコアまでのディスアグリゲーション  
型ネットワークの導入を進めており、50%以上が今後 5 年以内に導入を計画しています。

今回の調査結果では、最新のネットワークはクラウドのように設計され、ハードウェアとソフトウェア  
を完全に分離した上で、共有された物理リソースの共有プール上で動作するクラウドネイティブなソフ  
トウェアに基づいていることが明らかになりました。レポートによると、このようなトレンドを無視す  
る人は、自らの責任でそうされています。

**Heavy Reading** 社のシニア プリンシパル アナリストでレポートの著者スターリング・ペリンは、「既存  
のサプライヤーが新しい要求に合うように適応するか、あるいは、より反応の良いプレイヤーに取  
代わられるかのどちらかだ」と述べています。「ディスアグリゲーションは、IP 市場に、ここ数十年  
存在しなかった新しいサプライヤーの選択肢をもたらし、事業者に買い手と売り手の関係における新たな  
力を与えています。」

### 変化する業界のダイナミクスを反映した結果

今回の調査結果は、通信サービス プロバイダー (CSP) とクラウド プロバイダーの間の変化するダイナ  
ミクスを反映しており、これらプロバイダーは競合他社となるだけでなくパートナーにもなりつつあり  
ます。

**DriveNets** の共同創業者兼 CEO のイド・スーサン (Ido Susan) は、「クラウド プロバイダーは、CSP  
の収益源を追求しています。」と語っています。「運用ネットワークペイロードを担うだけでなく、企  
業システムサービスのバックボーンの代替としての役割も担っています。ネットワークを完全に仮想化  
された最新のクラウド ネイティブ アーキテクチャに変革することで、より革新的になることが可能にな  
り、新しいクラウドの構築後は、ネットワーク エッジで新機能を展開し、コストを大幅に削減するこ  
ができます。」

スーサンは、このイノベーションの一例として、AT&T による **DriveNets Network Cloud** の導入を挙げて  
います。

「AT&T 社が当社の技術を採用したのは、業界の他の企業と同様に、強力で拡張性があり、需要の変動に  
対応し、新しいイノベーションを進んで取り入れるネットワークを構築することに重点を置いているか

らです。今回の調査結果から、ほとんどのサービス プロバイダーが、ディスアグリゲートされたクラウドネイティブなネットワーク アーキテクチャに導かれることを認識していることが正しいことがわかります。」

デローグループ (Dell' Oro Group) の梅田真副社長は、「ディスアグリゲーションされたルーターに関する最新の予測は、急速に出現するこの市場に対する CSP の関心の高まりを反映している」と述べています。「ネットワーク オペレーティング システム (NOS) ソフトウェアがホワイトボックス ハードウェアから独立して販売されるディスアグリゲーションされたルーターは、大容量コアネットワークとモバイルバックホール ネットワークのセルサイト デバイスの両方で使用され、2021 年に最初の大規模な導入が行われると予想しています。」

本レポートでは、現在のネットワーク サプライヤーに対する不満レベルが高いことに加え、ディスアグリゲーションの導入レベル、ディスアグリゲーションやクラウドネイティブなテクノロジーを導入するメリット、新しいネットワーク アーキテクチャに進化しない場合に事業者が直面する課題についても取り上げています。

#### 現在の IP ネットワーク サプライヤーに対する最大の不満の原因

- 高コスト - 24%
- 相互運用性の欠如 - 22%

#### ディスアグリゲーション型クラウドネイティブ ネットワークの採用はすでに始まっています

- モバイルネットワーク事業者の 42%がすでにこのテクノロジーを導入済み
- 固定通信事業者の 40%がすでにこのテクノロジーを導入済み

#### ディスアグリゲーションやクラウドネイティブなネットワークングテクノロジーを採用するメリット

- アーキテクチャの簡素化 - 45%
- より高く、より柔軟なスケール - 45%
- 仮想化 - 44%

[全レポートのダウンロードは](#)

### DriveNets について

DriveNets は、クラウドネイティブ ネットワーキング ソフトウェアとネットワーク ディスアグリゲーションソリューションのリーダーです。2015 年に設立され、イスラエルを拠点とする DriveNets は、通信サービス プロバイダー (CSP) やクラウド プロバイダーに対して、ネットワークを構築する急進的な新しい方法を提供し、技術モデルや経済モデルを変えることで収益性を大幅に向上させています。

DriveNets のソリューションである Network Cloud は、クラウドのアーキテクチャモデルを Telco グレードのネットワークングに適応させたものです。Network Cloud は、標準的なホワイトボックスの共有物的インフラ上で実行されるクラウドネイティブのソフトウェアで、ネットワークの運用を根本的に簡素化し、通信事業者規模のパフォーマンスと弾力性をはるかに低いコストで提供します。詳細はこちら [www.drivenets.com](http://www.drivenets.com)

広報担当者

クリスタル・モナハン (Crystal Monahan)  
+1-617-290-2882  
[drivenets@guyergroup.com](mailto:drivenets@guyergroup.com)

サンドラ・ウェルフエルト (Sandra Welfeld)  
+972- 9-774-4726  
[press@drivenets.com](mailto:press@drivenets.com)